

新会長に石井高洋氏

認定店の販売活動強化

TOKYO X ASSOCIATION

ことし5月、TOKYO Xの流通販売組織であるTOKYO X Associationの

新会長に石井高洋氏(株エムアイフードスタイル)三越伊勢丹グループ)が就任した。石井新会



長は三越の店舗などで実に30年以上の現場経験をもつ。

TOKYO X Associationでは本年度から、目前に迫った東京オリンピック・パラリンピックや年間で4千万人を超えるといわれる観光客のインバウンド対応として、より消費者に近い販売店に対応の軸を移す。

都内の小学校で食育の授業を行った石井会長

これまでのブランド

戦略や情報発信はTOKYO X Association

で二元管理されてきたが、認定店

での販売活動を強化。認定店主体の独自のBtoCに軸足を置く体制を構築し、認定店への販売活動と情報発信の充実を図るため、店舗へのレシビ

提案のリーフレットなど、具体的な補助を行う。

さらにTOKYO Xを使用した加工品の開発を進めており、東京土産として外国人観光客などへ提案する。

また、これまで第5肋骨と第6肋骨の間を切開し、そのロースしで肉質判定を行ってきたが、日本食肉格付協会のPM

合することにより、一価

不飽和脂肪酸のオレイン酸が増える試みも行われている。

また、TOKYO X Associationでは、都内の小中学校や市民イベントなどで精力的に食育活動を実施。食育を通して「アニマルウェルフェア」なども含め、「物語」として生産工程の優位性を全面に出し、それを付加価値につなげることで、さらなる拡大を目指す。

石井会長は「生産者との交流はもちろんだが、いまよりさらにTOKYO Xを一般消費者に食べていただくことに注力していく。植村顧問の力も借りながら、食育活動や販売フェアなどを積極的にサポートしていきたい」と意気込みを語る。

さらに飼料米を15%配合することにより、一価